

平成24年度 第1回保健医療従事者研修会 「正しく実践！標準予防策」の実施報告

8月最後の土曜日、草津市立市民交流プラザにて「保健医療従事者研修会」を開催しました。暑い日差しの中、保健医療従事者など88名の皆様にご参加いただきました。

まず感染管理認定看護師さんの話題提供では、感染発生から早期終息に向けて積極的に実施された感染対策の紹介があり、経験されたからこそその気付き、施設内で事前に協議しておくべきこと、新しい情報などが盛り込まれており、大変参考になりました。

講演では、根拠のある感染対策を行う必要があることに始まり、標準予防策の一つひとつを丁寧に説明してくださいました。中でも、「マスクは2枚重ねにしない！ その根拠は、マスクのフィルターを通さず、マスクの隙間からの換気になる。」「手のよく触れる箇所は、丁寧に清掃する！ホコリがたまらずきれいだと勘違いしがち。でも、想像力が必要！」など、(そうだったのか・・・)と気づかされ、(出来ていないな)と反省しながら、集中して学びました。

研修後に皆様からいただいたアンケートには、「スタンダード・プリコーションについては、分かっているつもりだが、少し自信のないところもあった。今回学ぶことで再確認できた。」「職員感染予防策の改訂にあたり参考になった」「施設として全員で取組めるよう努力したいと思った」などの感想がありました。

この研修会が感染予防や研修、アウトブレイクの早期終息に少しでも貢献することを願っています。今年度2回目の「保健医療従事者研修会」は「『共感する』を考える(仮題)」をテーマに開催します。詳しい内容が決まりましたらご案内いたしますので、ぜひご参加ください。

当財団の理事長あいさつ



質疑応答

